

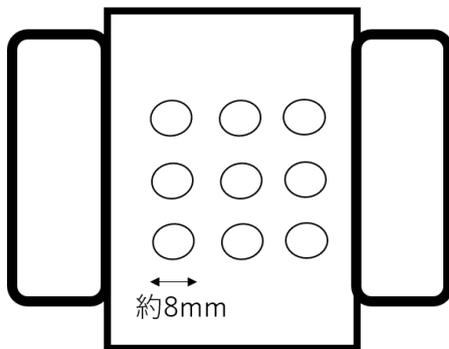
Injury Alert (傷害速報)類似事例

紙パック飲料ホルダーによる指ターニケット症候群 (No68 玩具による指ターニケット症候群の類似事例 2)

事例	基本情報	年齢：2歳 9か月 性別：女児 体重：13kg 身長：90cm
	家族構成	父、母、本児
	発達・既往歴	なし
臨床診断名		指ターニケット症候群
医療費		外来2日で計20,180円
原因対象	対象名称	紙パック飲料ホルダー（プラスチック製）【図1】
	入手経路 使用状況	新品で購入し、毎日使用していた。
発生状況	発生場所	自宅の居間
	周囲の人 周囲の環境	発生時と思われる時刻に、自宅内には母がいたが、キッチンにいた。発見時には父も帰宅していた。
	発生年月日	2021年9月X日（木） 午後6時00分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	受診当日午後6時ごろ、母が、紙パック飲料をホルダーに入れて児に手渡した。母はキッチンで料理をしており、児は居間でひとりで飲んだ。いつもは飲み終えた後にホルダーごと渡すが、この日は紙パックしか渡さなかったため、母は、ホルダーが気に入って手放さなかったのかと思っていた。午後6時半ごろに父が帰宅した。午後7時ごろ、夕食を食べようとしたら児の右手がホルダーにはまり込んでいることに気が付いた。右第3・4指が側面の隣り合った穴に各々はまっていた。父母で抑えて石鹸を付けて引き抜こうとしたが、右第3指しかとれず、右第4指の腫脹発赤が次第に増悪したために午後8時32分に救急外来を受診した。

医療機関受診時
以降の治療経過
転帰

午後 8 時 42 分にトリアージを行った際に、右第 4 指が遠位指節骨間 (DIP) 関節部で穴にはまり、以遠の末節部に著明な腫脹をみとめた【図 2】。指ターニケットの判断で緊急トリアージとなり、即時診察を行った。キシロカインゼリーを塗布して牽引を試みるが不変であった。ペンチと眼科剪刀、ペアンを用いてホルダーを破壊し、午後 9 時にターニケットを解除した。右第 4 指末節部に擦過傷と発赤、腫脹があり【図 3】、生理食塩水 100mL で洗浄後、ワセリンとガーゼを用いて被覆していったん帰宅とした。事故発生 24 時間後に、外来で虚血の再評価を行ったところ、腫脹の改善を認めたため終診とした。



【図 1】商品のイラスト（正面から）



【図 2】来院時の状態を再現した写真



【図3】 ターニケット解除後の患部